



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第71号

平成28年10月19日

河津町議会だより



主な内容

- 平成27年度 町の財政…………… 2
- 議員研修会……………11
- 意見書、議案の説明…………… 3
- 一部事務組合報告……………12
- 平成27年度実施の主な事業…………… 4
- 議会の動き、新しい議会構成……………13
- 町長の行政報告…………… 6
- 総合防災訓練に参加して、編集後記……………14
- 一般質問（4名）…………… 7～10

平成27年度 町の財政報告

第3回定例会は、9月8日から21日までの期間中8日間にわたり開かれた。

提出議案は、報告案件2件、人事案件1件、28年度補正予算5件、27年度決算認定9件であった。いずれも可決した。

決算認定は特別委員会に付託され、6日間の慎重審議の結果、21日、本会議において意見書を付帯しすべて可決された。

町税は固定資産税の評価替えにより減収となったが、国・県の支出金が増え、財産収入・ふるさと納税の増、財政調整基金繰入れ増により、歳入は3億3820万円の増となった。

認定された27年度決算

	歳入	対前年度比	歳出	対前年度比
一般会計	45億4396万円	3億3820万円	42億3780万円	3億7841万円
国民健康保険	15億508万円	7056万円	14億1386万円	2156万円
介護保険	8億8762万円	4774万円	8億3688万円	1419万円
後期高齢者医療	9378万円	66万円	9357万円	78万円
土地取得	637万円	519万円	600万円	515万円
駅前広場	513万円	95万円	448万円	62万円
国民宿舎「かわづ」	732万円	115万円	732万円	115万円
水道	収益的収入 1億7637万円	△ 48万円	収益的支出 1億9495万円	880万円
	資本的収入 608万円	△ 2751万円	資本的支出 5475万円	△ 2162万円
温泉	収益的収入 1億3275万円	437万円	収益的支出 1億629万円	△ 353万円
	資本的収入 0円	0円	資本的支出 722万円	0円

(千円以下切り捨て)

町の借金 33億1744万円
町の貯金 18億5417万円

※経常収支比率 84.4%
※財政力指数 0.40
※将来負担比率 15.0%

※解説 11ページ

21日、定例会最終日の本会議で特別委員会の報告が稲葉静委員長よりなされた。「付託された議案第64号から、第72号までの9件の議案は、審査の結果認定すべきと決定しました。」と報告した。また付帯意見書を提出した。内容は次の通り。

意見書

1、町民生活の必要性・利便性のため、高齢者の移動手段を含め、新公共交通システムを確立されたい。

2、桜まつり交通渋滞解消のため、駐車場の確保と空き情報発信システム等、交通体系の検討をされたい。

3、梨本地内の煉瓦の洞遺跡は、世界遺産蘆山反射炉の関連施設であり、観光と歴史遺産の観点から整備を図られたい。

議案の説明

●報告は27年度決算の健全化判断比率「実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字はなく健全財政と見受けられる、又実質公債費比率は5・7%、将来負担比率は15・0%でいずれも早期健全化基準を大きく下回っている」

●報告は水道・温泉・国民宿舎かわづの公営企業の資金不足比率である。いずれも「資金不足はなし」であった。

●人事は固定資産評価員の選任。

町民生活課長 土屋 亨

●28年度一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出にそれぞれ7753万7千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ42億2602万1千円とする。

歳入の主な内容は固定資産税増額・林ノ山土地貸付料・繰越金などである。歳出は遺跡調査発掘土砂撤去のための重機借上料・不法投棄物処分手数料・農業施設修繕料・林業事業補助金・大滝遊歩道整備・観光関連・地区要望道路修繕

料などである。

●28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出にそれぞれ950万円を追加し、同予算総額をそれぞれ14億9054万2千円とする。歳入は27年度療養給付調整分、歳出は27年度清算による国県への返還金である。

●28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出にそれぞれ2139万1千円を追加し、同予算総額をそれぞれ9億1589万円とする。歳入は繰越金がほとんど、ほかに国県からの支出金等である。歳出は27年度清算による国県支出金返還金、一般会計繰出金、介護予防住宅改修費である。

●28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出にそれぞれ2万1千円を追加し、同予算総額をそれぞれ1億96万4千円とする。

●28年度水道事業会計補正予算(第2号)
補正額は356万3千円、伊豆縦貫道絡みの水道管付替工事のため、補正するものである。

27年度実施の主な事業

1、東小学校耐震補強工事	7646万円
2、河津中学校体育館耐震補強工事	7685万円
3、町道大堰笹原線道路改良工事	2824万円
4、町道奥谷津線道路改良工事	2232万円
5、河津川桜並木工事	3286万円
6、佐ヶ野遊歩道整備工事	2817万円
7、鳥獣害対策	1257万円
(町対策協議会負担金・対策事業補助金・駆除委託料)	
8、地域型保育事業	2840万円
9、光ファイバー網整備事業費補助金	1億2156万円
10、公共施設整備基金積み立て	2億5020万円

(千円以下切り捨て)



東小耐震工事



町道奥谷津線



桜並木整備工事



佐ヶ野遊歩道整備工事

決算審査 特別委員会

決算審査特別委員会とは、本会議の前に、各課長の施策の説明・決算の説明を受け、質疑応答を行う。その後、一般会計決算書の認定に先立ち、反対討論、賛成討論を行い、賛否を問う。議会から意見書を付帯する。

総務課

Q：役場の対応が良くないと不満を持っている町民が多いが、職員研修の成果は生かされているか。総務課長としてはどう感じているか。

A：町民から職員の態度が悪いと聞くこともある。町長・副町長から聞いた話を課長たちへ伝えることもある。研修だけで仕事に反映できるかという個人

差もある。繰り返し伝え改革して行くしかないと思う。

Q：試験運行バス利用者が少ない。何回も委員会で利用者を増やすと言っている。努力、対応策はとってきたか。利用者が少ないのは利用しにくいからではないか。利用者を増やす努力を行っているか。

A：近隣市町で行っている取り組みを河津町にあてはめた場合、それで改善されるとは限らない。河津町にマッチした事業を見出せない状況にある。町民にアンケートなどを行えばわかるところが、そこまで行っていない。今研究している状況で進展はしていない。

まちづくり推進課

Q：バガテルのレストランが休業中だが、今後どうするか。建物も傷みがきているが、続けられるのか。これからの予定を聞かせてほしい。

A：バガテルレストランについては、利用者の募集を行ったが、

何件か問合せはあったが契約には至らなかった。シヨップの一つは、借り手が見つかった。レストランについては建物は使用できるが、エアコンは修理中であり機械類、キッチン関係は年数がたっているので老朽化が進んでいる。

町民生活課

Q：合併処理浄化槽整備事業について、中規模の推進状況はどうなっているか。

A：前は新設が補助対象となっていたが現在は対象外となっている。単独槽から合併浄化槽への切り替えは対象が少ない。

保健福祉課

Q：放課後児童クラブについて、夏休みなど人数が増えていると聞く。どんな状況か。

A：夏休みについては、人数が多くなったときは、体育館2階では無理なので学校の教室を1つ借りて対応している。夏場は暑いのでエアコンのあるなしで

不満もあったようだが、交代でエアコンがある教室が使えるよう配慮した。

建設課 駅前広場特別会計

Q：修繕料で260万あるが毎年かかるか。

A：バスロータリーのテント修繕で使用している。台風などでテントが破れると費用が掛かる。かなり老朽化しているの、維持費用は今後も掛かる。

建設課 水道事業会計

Q：水道の石綿管はいつまでに改修するか。

A：町内に1km近くある。いずれ替えなければならぬ。石綿管は通常使っている分には問題は無いが、耐震性が無く、傷が付いた時に石綿が流れ出す問題がある。

産業振興課

Q：桜まつりピーク時の交通渋

滞解消にバガテル公園の駐車場をシャトルバス等で利用してみているか。

A：バガテル駐車場からのピストン運行の関係は、実行委員会と町長も考えており、うまく使えば、かなりの駐車ができるのではないかと。谷津の方に下り中村肉屋から上へあがり、ぐるぐる回すのも一つの案かと思う。

教育委員会

Q：ことばの教室を保育園に通っている子供たちにも知らせはしているか。

A：特に保育園には告知していない。保育担当の保健福祉課と調整ができれば検討してみたい。

町長の行政報告（抜粋）



●平成27年度決算

平成27年度の一般会計決算は、歳入総額45億4396万円余、前年比8・0%増。歳出総額42億3780万円余、前年比9・8%増。差引額は3億615万円余。東小校舎、中学体育館耐震補強工事に伴い国庫支出金が15・8%増。上河津地区光ファイバ事業等に伴い41%増。「健全化判断比率」から見て健全な財政運営を維持していると判断。

●鉢の山町有地の賃貸借契約の締結

太陽光発電施設の設置に伴う契約、坪井工業株式会社と約8万4千㎡の土地を年間約565万円で約20年間の貸付。

●複合施設整備事業

実施設計業務委託を野田建築

設計事務所と4050万円で購入。地質調査業務委託を土屋産業株式会社と527万4百円で契約。

●河津町フラワートライアソン大会

11月13日に開催、伊豆地域では初めての本格的なトライアソンの開催。300人の参加見込。

●観光誘客事業

海水浴の状況ですが、今井浜海岸の入込みは、2万9490人、前年比35%減、河津浜海岸2370人、前年比40%減。今後は、秋バラや天城路河津秋まつり等のイベント開催のほか、江東区民祭りや、渋谷区くみんの広場などにも積極的に参加していく。

●水道事業

大堰浄水場ポンプ設備更新設計業務委託は、日本水工設計株式会社静岡事務所と864万円で契約。送水ポンプ3基は設置以降40年が経過し、更新事業を行うため実施設計を行う。

一般質問

社会状況の変化に伴う子育て世帯への支援体制は

教育長―居場所づくりに取り組んでいる

教育長：教育環境を取り巻く状況は、少子高齢化・グローバル化・急速なICT環境の進歩など大きく変化して、背負っているものも様々。今は家庭・地域の教育力の重要性が叫ばれ、学校においても、家庭、地域の連携共同は重要であると認識している。学校で起きている問題も質的、量的にも教員だけで対応するのは難しい。非常勤のスクールカウンセラーは10年前から、今年度は非常勤のスクールソーシャルワーカー（福祉の専門家）が配置された。*SCや*SSWの方と「ケース会議」を開き組



小林和子 議員

織的に支援する体制づくりに取り組んでいる。

教育委員会事務局長：就学援助については法により―経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して市町村は必要な援助を与えなければならぬと定めている。町は、認定基準を設け、認定された要保護者、準要保護者に就学に関する学用品等必要な援助を行うことになっている。各地区の民生委員は対象となる児童、生徒の世帯に家庭状況調査を実施し、調査票を提出する。学校は調査票を精査し、意見書並びに就学援助費の支給申請書を教育委員会事務局に提出、事務局は調査書と意見書により世帯の所得状況等調査をし、直近の定例教育委員会認定の可否を決定する。町の給付率は1%未満です。

質問：静岡県の就学援助率は6・4%。全国の最下位。この制度

就学援助費 認定を受けた要保護者・準要保護者	小 約700000円 大 約600000円
児童手当 中学までの児童養育者	3歳未満 15000円/月 3歳以上～小学生まで 10000円/月 (第3子以降は15000円) 中学生 10000円/月
児童扶養手当 ひとり親家庭で学齢期の子の養育者 (～18歳まで)	1人 42330円 2人 52330円 3人 58330円
ひとり親世帯への支援（県補助の町事業） 児童扶養手当対象者で全額支給停止以外の者	支給額 上限30000円
他にも特別児童扶養手当・生活保護などあり	

を知らない方が多い、周知の方法は工夫して、必要な家庭に届くように。また就学支援費はおよそどのくらいか。教育委員会事務局長：周知の方法については近隣市町を調査して今後の課題として検討をする。質問：児童生徒への福祉の関係補助費は他にないかあるか。

複合施設は多くの町民に支持され歓迎されるのが重要。住民の意見を聞く努力をして。貸店舗、施設の運営は。財政の根拠は。

まちづくり推進課長：貸店舗はまだ公募をしていない。店舗使用料は27万5千円の予定。運営については子育て、児童の運営は保健福祉課で。ホールを含めた全体は指定管理を含めて検討中。町長：町債の発行は、27年度末で約33億1700万円、28年度末には30億1900万円に減る予定。また28年度以降町債の発行がなければ、10年後には6億8千万円に減る予定。29年度に起債をした場合3年据え置き15年償還という事で4年後から5千万円程度返済していくと、他の起債をしない場合には10年後には町債は10億3800万円に減る予定。毎年、建設事業だけでなく臨時財政対策債を2・3億借りている。今の財政償還は3億円台まで減っている。町の財政運営は10年間は問題ないと考えている。

*SCはスクールカウンセラー *SSWはスクールソーシャルワーカー

その他 落札～契約

- 公共施設等総合管理計画策定業務委託
玉野総合コンサルタント株式会社静岡支店 …2,160,000円
- 災害廃棄物処理計画策定業務委託
株式会社東和テクノロジー静岡東営業所 …1,944,000円
- 県単水路改修工事（筏場地区）
さくら建設株式会社 …5,929,200円
- 林道（杉久保線）開設工事
株式会社大塩組 …11,880,000円
- 道路、橋梁事業
- 町道縄地線路肩補修工事
斉藤土木株式会社 …2,754,000円
- 町道縄地線側溝補修工事
東海建設株式会社 …1,674,000円
- 防災・安全交付金 町道鍛冶屋沢線舗装補修工事
丸三工業株式会社 …19,440,000円
- 防災・安全交付金 町道大鍋向沢・立間線（立間橋）調査設計業務委託
株式会社東日 …2,473,200円
- 防災・安全交付金 町道沢田線（寺川橋）調査設計業務委託
新日本設計株式会社三島支店 …2,138,400円
- 防災・安全交付金 町道沢田峰線（峰小橋）調査設計業務委託
静岡コンサルタント株式会社 …2,484,000円
- 川久保橋架替工事予備設計業務委託
開発虎ノ門コンサルタント株式会社静岡東部事務所 …5,940,000円
- 浜地区道路施設改修工事
有限会社加畑組 …8,553,600円
- 笹原区道路施設改修工事
株式会社大塩組 …2,916,000円
- 町道見高浜線落石防護施設新設工事
山内組 …6,912,000円
- 町道荻ノ入2号線落石防護施設新設工事
株式会社大塩組 …8,586,000円
- 防災・安全交付金・町道上峰線法面補修調査設計業務委託
静岡コンサルタント株式会社 …10,638,000円
- 町道佐ヶ野1号線改良事業測量設計業務委託
有限会社渡辺測量事務所 …3,618,000円
- 防災・安全交付金・長寿命化修繕計画・橋梁点検業務委託
静岡コンサルタント株式会社 …9,720,000円
- 学校教育関連事業
- 西小学校体育館天井落下防止対策工事
東海建設株式会社 …27,000,000円
- 河津中学校校舎屋上防水工事
東海建設株式会社 …34,020,000円
- 各小中学校に配備する電子黒板購入事業
西日本電信電話株式会社静岡支店 …5,292,000円
- 教員用パソコン購入事業
日興通信株式会社下田営業所 …3,776,760円

移住促進対策の現状は

町長「町政を担い感じている事は、移住は相当進んでいる」



遠藤 嘉規 議員

質問：移住促進対策は町の総合戦略内でも明記されているが、現状は。

町長：先日、総合戦略推進会議を開き事業の検証と今後の意見を聞いた。人口の移動実態と委員の方の話、私が町政を担っている中で感じている事は、移住は相当進んでいる。

他の市町と比べて人口減少も少ない。やらなければならぬ点はあるが、現段階でかなり増えてきている。東京近郊からの移住促進は東京の移住促進センター等を活用して、これから進めていきたい。

まちづくり推進課長：9月10日に東京有楽町で開催する移住相談会に河津町も参加しPRをする。また、「地域おこし協力隊」にも力を借りて空家バンクを強化し体制を整えていく。

質問：移住促進で成功している自治体の取り組みを参考にするため、職員を派遣する等して取り入れる考えは無いのか。

町長：他の市町の成功事例を見ながら、しっかりと進めたい。今年から若手職員の研修や資格取得の補助制度を作った。それらを使って移住促進の先進地事例を見てきてもらい、行政に活かしてもらえればありがたいと思う。

質問：町の説明が不十分だと思うが、町民向けの説明会を検討しない理由は。

町長：広報かわづでも説明し、

複合施設について

質問：町の説明が不十分だと思うが、町民向けの説明会を検討しない理由は。

複合施設貸店舗、入居者が決まるまで建設延期すべきでは

町長「仮に入所する所が無ければ展示スペース等で活用」

町長：公共性を持った、2事業者を公募する。

複合施設避難設備の車椅子の方などの配慮は

まちづくり推進課長「設備は特に設けず、周りの人の手助けにより対応」

質問：配慮のない設計であるが、誰が精査したのか、中に12億円



上村 和正 議員

質問：400万円で作れるなら巨費を投じる前に、問題点を解消しながら実行に移すべきでは

町長：一時預かり事業については、検討させていただく。

複合施設子育て関連の運営費は

保健福祉課長「人件費1500万円強、国、県の補助金などで1100万円、一般財源に合わせると400万円と想定(放課後児童クラブのみ)」

質問：400万円で作れるなら巨費を投じる前に、問題点を解消しながら実行に移すべきでは

町長：一時預かり事業については、検討させていただく。

回覧配布も行った。回覧資料は丁寧に事業の内容を書いて、今後のスケジュール、主な機能も細かく記載し図面まで付けた。どこが足りないのか逆にお聞きしたい。

また、ふれあい町長室にも担当課にも説明が足りないという声は届いていない。説明が足りないと言う事であれば、しっかりと答えるので役場まで来て頂ければと思う。

質問：町民の声に耳を傾けて欲しいが。

町長：複合施設は検討委員会を開き委員から答申をもらい、議員にも説明をしている。基本設計予算、遺跡発掘調査予算も議会でも慎重審議し認めてもらっている。私が独断的に進めている様な誤解を招かない様にして頂きたい。

子育て支援の取り組み

質問：河津町は周辺市町と比べて子育て支援が充実しているが、今後の新たな取り組みは検討しているのか。

保健福祉課長：今後の子育て世

複合施設ホールの使用料は、9か月前から聞いている

まちづくり推進課長「建設に合わせ検討している」

質問：管理費は、昨年「基本設計を元に算出する」と言っていたが、いつ数字が示されるのか

町長：今、検討している。質問：保健福祉課では、数字が出るのに、なんで出せない。密室で物事を決め、質問しても検討中で答えを出さない。情報公開は公平性を守る条件だと思っ

町長：指定管理料の算定は、まだ出ない。

公共事業の失敗例は

質問：補助金が10億円確保出来たら、10億円をフルに使い、維持管理費を考えず、稼働率も甘いまま、空きテナントが目立つ立派な施設を建設することである。

帯のニーズを捉えながら、新たな事業を含めて検討していきたい。

質問：高校生・大学生向けの支援、奨学金などは検討しないのか。

教育委員会事務局長：河津町育英奨学条例があり、経済的理由によって高等学校就学困難な者にたいして学資を給付し、有用な人材を育成する事になっている。他の市町と違い返済がいら



有楽町ふるさと回帰支援センター

今回予定している複合施設と同じではないか。

以前も提案したが、岩手県紫波町にある、オガールプラザは、まずテナントを固め、建設費のコストカットのため、運営会社が、10億円で建設、その後、公共部分を紫波町に売却し、その他は民間の融資などで賄った。そして補助金に頼らないまちづくりがはじまった、という記事があったが、一度は視察してみ

町長：視察する必要性も出てくると思う。



オガールプロジェクト(ホームページより提供)

静岡県市町議会議員研修会

8月18日、静岡市「グランシップ」において、静岡県市町議会議員研修会が開催された。

県内全市町の議員総勢約700名程度の参加者を一同に会し、若手女性ジャーナリストで、日本文藝家協会会員の三神万里子氏を講師に招き、およそ1時間半におよぶ勉強会を行った。



講師 三神 万里子氏

研修の議題

「人口減少社会における地域経済の活性化策」

人口減少、出生率、高齢化率の推移、そして女性活用のアプローチ、若者の年収増など、多岐に渡る視点で広島県青河町などの成功事例を題材にした、丁寧な講演をしてください、当町をはじめ県下全市町議員が熱心に聞き入っていた。

多数の署名が集まれば、考え直す余地はあるか



塩田 正治 議員

町長「何名の署名が集まっても

事業は止めない

ができるのか聞かれることはある。内容、必要性を話し理解をいただいている。

質問：署名活動により、多数の署名が集まった時に考え直す余地はあるか。

町長：反対の署名活動は、どうぞやっていただきたい。何名の署名が集まりましたも事業を止めるつもりは無い。

質問：共創、共生、共働、と言って町民と共に政治を行っているはずではなかったのか。これまでの政治姿勢と矛盾をしていないのか。

町長：まさしくこの事業は、町民と共に進めていると思っ

副町長：把握している限りは無い。
質問：過去に、10億円以上の事業で補助金が5パーセント以下の事業を行ったことがあるか。
質問：町長は、反対意見についての程度認識しているか。
町長：直接反対の意見は聞いていない。間接的にどういう施設

経済政策について

質問：就任以来、確実に起債（借金）を減らし、毎年黒字決算により、複合施設建設のための基金（貯金）を6億円も積み立て、公債費比率を5パーセント台までにした緊縮財政派であると思うが、そのあいだにその分の仕事をしていけば河津町の現在の経済状況は違うものになっていたのでないか。

町長：緊縮財政派とは思っていない。これまでに6年間、町民、各地区からの要望、事業は、一つも先送りすることなく行ってきた。



旧南中 跡地

雇用対策について

質問：雇用の具体策は。

町長：これまでチャンスは与えてきたつもりだ。議員にも提案してほしい。

行政用語解説

財政調整基金とは

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

財政力指数とは

財政の豊かさを表す指数。自治体を運営するのに必要な経費に対して、自前の収入（税収など）がどれくらいあるかを示す指標。「1」に近づくほど財政に余裕がうまれます。

経常収支比率とは

地方税や普通交付税など毎年の収入に対し、人件費や扶助費など決まった支出が占める割合。

実質公債費比率

自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。通常3年間の平均値を使用。18%以上だと、新たな借金をするため、国や県の許可が必要となり、25%を超えると国や県の管理下におかれます。

将来負担比率

財政健全度を測る指標の一つです。350%を超えると、国に健全化計画を報告しなければなりません。

一部事務組合報告

伊豆斎場組合議会

8月24日に定例会が開催され、新たな管理者である下田市新市長福井祐輔氏のあいさつがあった。

現在の施設の老朽化による建て替えが計画され、平成38年度の供用開始に向け準備がされている。それに伴い組合議員による、最新先進施設の視察を行う事になった。

報第1号 専決処分の承認は、伊豆斎場組合指定金融機関の指定について

認第1号 平成27年度伊豆斎場組合会計決算額は、歳入4027万円、歳出3594万円、差引額433万円となった。

議第4号 伊豆斎場組合行政不服審査会条例の制定

議第5号 補正予算は、歳入歳出とも、353万円増額し、それぞれ4366万円とした。

東河環境センター議会

9月29日に東河環境センター議会が開かれた。平成27年度東河環境センター会計歳入歳出決算認定についてなど、2議案について審議し、可決承認された。

27年度決算では、歳入が7億1303万4777円、歳出が6億5718万9564円、差引残額5584万5213円。

27年度における、し尿および塵芥の処理状況は、し尿が1万1669㎥、(前年対比99・1%)塵芥が1万1300ト(前年対比99・3%)であった。

28年度補正予算については、歳入歳出それぞれに5542万5千円を追加し、予算総額を7億7692万3千円とした。歳出の主なものは、財政調整基金積み立てが3819万3千円。定例会終了後、延命化対策について、全員協議会が開かれた。

下田地区消防組合議会

8月30日に定例会が開かれた。平成27年度下田地区消防組合の決算認定、平成28年度補正予算、西伊豆消防署建設工事契約等が審議され、可決された。

事業報告では2月1日～7月31日まで組合全体で、火災発生は8件。救助出動件数は12件。救急出動は1841件、搬送人数は1686人、河津町では270人が搬送された。ドクターヘリの搬送要請135件、108人の傷病者が搬送された。疾病分類は循環器系、脳疾患、外傷性の順が多い。

予防業務は特定防火対象物のスプリンクラーの未設置、不備など重大違反の改善を重点的に指導強化を行った。管内の重大違反は5施設、現在3施設の改修が進んでいる。

下田メデイカルセンター議会

8月16日に議会全員協議会が開催され、組合所有の共立湊病院跡地等の売却について協議した。

8月30日に定例会が開催され、平成27年度病院事業会計決算認定についてなどの議案について審議し、可決承認された。

平成27年度病院事業会計では、病院事業収益3億7404万円、病院事業費用4億6031万円であった。

介護老人保健施設事業特別会計では、歳入3025万円、歳出2987万円であった。

平成27年度診療実績は、入院延患者数2万5355人(前年度比1・4%減)、外来者延患者数5万5764人(前年度比3・2%増)であった。医療スタッフの確保、静岡県から3名の医師派遣の継続を要望する。

共立湊病院跡地等の売却については、補助金返還義務が生じる事が判明したため、本議案審議は行わなかった。

議会の動き

議長の活動

7月・郡議長会

町議会の活動

6～8月・例月出納検査(3回)

8月・県市町議会議員研修会

9月・議会運営委員会

7～9月・議会広報編集委員会 (4回)

常任委員会の活動

6月・社会教育委員会

7月・青少年問題協議会

・町自衛隊協力会理事會

・学校給食運営審議会

・民生委員推薦会

一部事務組合報告
6月・東河環境センター議会臨時会



土屋 衆太郎 議長

8月・下田メデイカルセンター議会全員協議会

・東河環境センター議会要望活動

・伊豆斎場組合議会定例会

・下田メデイカルセンター議会定例会

・下田地区消防組合議会定例会

広域連合議会

7月・静岡地方税滞納整理機構定期監査・決算審査

・静岡県後期高齢者医療広域連合議会定例会

8月・静岡地方税滞納整理機構議会定例会

議長に要請の諸会合

6月・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技開幕1500日前イベント

・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

(東京都)

・静岡県ほたるサミット2016河津大会

・夏季対策連絡協議会

7月・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動 (東京都)

(名古屋市)

・夏の交通安全県民運動街頭広報

・伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアクセス道路網建設期成同盟会要望活動 (東京都)

・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会等合同促進大会 (東京都)

・美しい伊豆創造センター1周年記念フォーラム

8月・静岡県東部地区身体障害者福祉会フライングゲイスク交流会 (バガテル公園)

・伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアクセス道路網建設期成同盟会要望活動 (名古屋市)

・同要望活動 (東京都)

9月・河津町交通安全対策委員会

・国道414号整備促進期成同盟会要望活動 (静岡市)

7月・今井浜海水浴場安全祈願祭

9月・総合防災訓練

・小学校出前理科実験参観

新しい議会構成

議長 宮崎啓次

副議長 渡邊 弘

監査 稲葉 静

【第一常任委員会】

委員長 山田 勇

副委員長 仲 里 司

委員 塩田 正治

委員 土屋 貴

渡邊 弘

宮崎啓次

【第二常任委員会】

委員長 小林和子

副委員長 上村和正

委員 稲葉 静

委員 遠藤嘉規

土屋衆太郎

【議会運営委員会】

委員長 渡邊 弘

副委員長 山田 勇

委員 上村和正

委員 仲 里 司

小林和子

【議会広報編集委員会】

委員長 小林和子

副委員長 遠藤嘉規

委員 上村和正

委員 塩田正治

仲 里 司

【一部事務組合議会】

東河環境センター 小林和子

土屋 貴 山田 勇

伊豆斎場組合 上村和正

塩田正治

下田地区消防組合 遠藤嘉規

稲葉 静

下田メディカルセンター

仲 里司 土屋桑太郎

国保運営協議会委員

塩田正治 仲 里司

土屋 貴 山田 勇

**企業と地域が
共に防災訓練**
(9月1日)

**地域の防災訓練に
参加して**

加和太建設

重 田 一

当社は三年前より国土交通省発注の『河津下田道路』で河津町大鍋地区にて施工を行っております。県道湯ヶ野松崎線の拡幅工事では、地元住民の皆様のご協力があり安全第一で作業をすることが出来ています。そこで、日々ご協力いただいている地元

住民の皆様に対し何か貢献できるものがないかと思い、毎年行われている防災訓練でのAED講習を開かせていただきました。

AED(自動体外式除細動器)

は今、様々なところに設置されており、万が一の時に、昔では助からなかった命の救命率を上げる事が出来るようになりま

した。しかしながらAEDの使い方を知らない、また講習を受けたが使い方を忘れてしまった方もいると思います。緊急時での対応をするには、「AEDの使い方を知る」と「講習による使い方の再確認をすること」

この二つが大切です。当日は、大鍋公民館で講習を行いました。

大鍋地区の皆様は4班に分かれ、講師及び消防隊員の説明を真剣に聞き、気になることは分かる

まで質問していただきました。何より緊急事態になった時にどれだけ冷静に講習で学んだことを実践

できるかが大事だと思います。『河津下田道路』の工事は引き

続き施工していきますが、加和太建設として地元住民の皆様とのコミュニケーションを大切に

安全第一で作業を行っていきま

総合防災訓練について

大鍋区長

平 川 清 志

私たちが地域では、区役員、各組長、防災士、消防団等において訓練内容を検討し実施していきます。しかし訓練もマンネリ化し、なお且つ高齢化も進み、どの様にどんな訓練をしていいのか悩むのが現状でした。

そんな時、伊豆縦貫自動車道の工事業者さんから声が掛かり、訓練に参加、協力をお願いしたところAEDを使用した心肺蘇生法(胸骨圧迫)訓練を、講師を交えて指導して頂き2年目になります。

この他にも、地域地図を使った簡単な図上訓練を行い、地域の危険箇所を確認と、改めて各自宅周辺の危険箇所、避難場所

等の話し合いが行われました。高齢者が多い当地区では、暑い中で行う野外訓練は限界があると思います、室内での実施としました。総合防災訓練は年1回ですが、高齢化が進むにつれて訓練内容も考えていかなければならないと思います。土砂災害危険地域に指定されたところばかりの当地区に住む住民は危険と隣り合わせです。災害が起きた時に、どれだけ冷静で行動出来るかが大事なことだと思います。

編 集 後 記

スポーツの秋です。日頃からウォーキングやジョギング、サイクリング、水泳などを楽しんでいる方も多いと思います。これらの運動は有酸素運動と言われ、最近この有酸素運動が認知症予防にもなるということを知りました。私も体力維持のためウォーキングを楽しんでいる一人ですが、体力維持はともかく脳力維持は脳トレもままならず。しかしウォーキングが認知症予防になるとのことなので体力脳力ともに維持でき、まさに一石二鳥ですね。(仲)